



# Transforming our world The 2030 Agenda

このアジェンダは、人間、地球及び繁栄のための行動計画である。

これはまた、より大きな自由における普遍的な平和の強化を追求ものもある。

我々は、極端な貧困を含む、あらゆる形態と侧面の貧困を撲滅することが最大の地球規模の課題であり、

持続可能な開発のための不可欠な必要条件であると認識する。

国連広報センターより参照

## GLOBAL MISSION



### 生態系の多様性保護



### 温室効果ガスの削減

2021年11月、COP26の成果文書であるグラスゴー気候合意が採択され、地球平均気温の上昇を石炭・石油利用によるエネルギー革命が始まった1700年中期以前を基準として1.5度以内に抑えることが目標とされました。IPCC(気候変動に関する政府間パネル)の6次報告書では、現在1.1度の上昇を引き起こしている地球温暖化が人为的であることを「疑いの余地がない」とし、気温上昇は今世纪末には最大5.7°Cになると警告しています。気温上昇を1.5度以内に抑えるためには、世界の温室効果ガスの排出量を2025年までに減少に転じさせ、2050年までには84%削減(2019年比)が必要があるとされています。温暖化はこれまでにない規模と頻度の自然災害を発生させ、私たちの生命・健康・生活を脅かしています。温室効果ガスの削減は、企業にとっても長期的な経済活動のプラットフォームを守る意味で、企業活動に直結する課題として認識されています。(国連の調査では気温上昇による熱波、洪水、干ばつ、ハリケーン等による経済損失は1998-2017年で249兆円とその前の20年間で5倍以上となっています。)

### パンデミックと生物・生態系の多様性保護(ONE HEALTH)

経済のグローバル化による資本の集中・効率化は、1次産業の大規模集約化と衰退化を促しています。その結果、特定地域での過度な資源の採集や未開拓の野生自然領域の開拓拡大、里山のような野生生物と人間との緩衝地帯の減少が進んでいます。2019年コロナパンデミックは野生生物由来の人獣共通感染症が、野生動物と家畜・人の境界線を越えた接触の増加により発生し、グローバルネットワークにより全世界に急速に拡散した事例となりました。WWFは地球の平均気温が4.5°C上昇すると、21世紀の末までに、WWFの定める5つの「優先保全地域」で、野生動植物の約50%が絶滅するとの調査結果を報告しています。生物多様性の喪失は特定の種の増加を意味し、増大し密に存在する野生種はウイルスの標的となり宿主としてウイルスの変異を促進させます。野生種から変異したウイルスとそれらに抵抗性のない人種の接触機会の増加はなるべくパンデミックの可能性を示唆しています。現在も続くコロナパンデミックによる経済活動基盤の損失は、企業にとっても生物・生態系の多様性の重要性を再認識する機会となりました。(IMFはCOVID19による全世界の損失金額額は2024年までに1600兆円になると試算しています。)

「人々の健康や生命は医学・生態学の複合的視点から、動植物・地球環境や地域の生態系と合わせて守るべき」とするONE HEALTHの取組がパンデミック後の世界で進んでいます。

### サプライチェーンの人権デューデリジェンス

グローバル化による労働・資本の移動の自由化は、より人件費の安い、より労働・安全・健康・人権・環境規制の緩い国への資本(生産地・製造工場・企業)の移動を促進しました。人命・健康・環境・人権を侵害する行為で生産された原料・商品は複雑なグローバルサプライチェーンを通じて供給され、背景を知らずに行われる購買活動は時にそれらの反人権的な企業活動を支援し継続させてきました。人権団体やNGOによりたびたび指摘されてきたサプライチェーンにおける人権侵害の問題を受け、2010年国連においてビジネスと人権における指導原則(ラギー・フレームワーク)が合意されました。

#### ラギー・フレームワークとは

2005年に国連人権、多国籍企業、および他の企業活動に関する事務総長特別代表に就任したジョン・ラギーが中心となって策定した「ビジネスと人権に関する国連フレームワーク」のこと。



#### サプライチェーンにおける人権デューデリジェンスとは

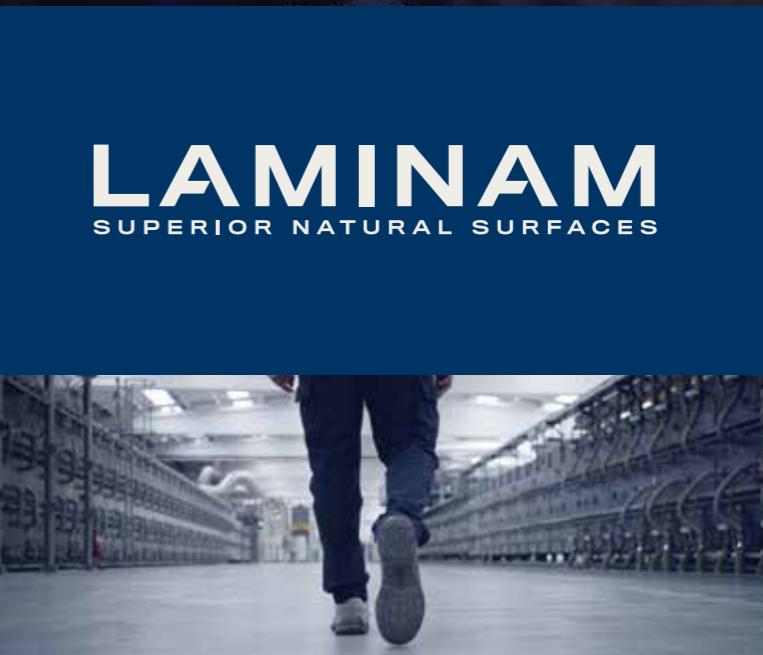
製品の原料調達、製造、消費者へ届くまでのサプライチェーンの川上から川下において関わる全ての人々(人権)「安全」「健康」が侵害されていないことを検証、評価、改善、救済、情報公開をする取組みです。デューデリジェンスとは「当然実施すべき取組み」を意味します。

ラギー・フレームワーク合意を契機に欧米各国ではサプライチェーン上の人权保護のための法整備化が進み、2017年にはISO 20400「持続可能な調達に関するガイダンス(Sustainable procurement - Guidance)」が正式発行される等、その取り組みは広がりを見せています。



## SUSTAINABLE EVOLUTION

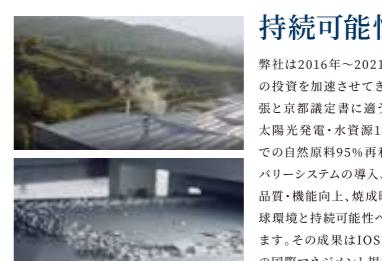
**LAMINAM**  
SUPERIOR NATURAL SURFACES



### ブランド哲学と実践的な環境課題への取組み

多くの人々が国連2030アジェンダに賛同しSDGsに取り組む今日、「未来」は地球環境や持続可能性抜きで語ることは出来ません。「どのような価値観を持った人々が、どのようなことを約束し、実際にどのように行動してきたのか」SDGsの取組みに対するこの問い合わせに常にレスポンシブル(応答可能)であり、明確で客観的な結果を示せること。それが、大判セラミックスラブのグローバルリーディングカンパニーとして過去から未来に続くLAMINAMのあるべき姿と考えています。

Laminam S.p.Aは世界初となる大判・最薄のセラミックスラブの開発・製造販売を目的として2001年にイタリアモーネ県で設立されました。「薄さ」は建築躯体への重量負担軽減とスラブ使用領域の拡張と共に、天然原料採掘による環境への負担軽減、製造・輸送におけるエネルギー・CO2排出削減のメリットも生み出しました。「独自性と実用性の両立」を「地球環境と持続可能性」への責任を果たしながら実行する姿勢は、大判・最薄のセラミックスラブの市場を開拓した当初から弊社のブランド哲学として製品・デザイン・製造工程等のあらゆる企業活動に息づいています。



### 持続可能性のための技術革新

弊社は2016年～2021年まで持続可能性のための技術革新分野への投資を加速させてきました。生産能力・効率向上のための工場拡張と京都議定書に適う温室効果ガス排出削減のための設備更新、太陽光発電・水資源100%循環リサイクルシステム導入、製造工程での自然原料95%再利用、廃棄物の再利用・堆肥化・エナジーパリッシュシステムの導入、40～60%のリサイクル原料含有率での製品品質・機能向上、焼成時間削減と品質維持の確保技術。これらの地域環境と持続可能性への投資額は5000万ユーロ(約70億円)に上ります。その成果はISO14001, ISO14064-1, ISO20400, EPD等の国際マネジメント規格により管理・定量化・比較可能化され、継続的なモニタリング結果として年次報告書として公表しています。



LAMINAM社が取得したISO14001、ISO14064-1、ISO20400、EPD等の20以上の第三者機関認証は、SDGsの取組の成果を客観的に実証するものです。

LAMINAM社は、イタリアグリーンビルディング協会のメンバーとしてISO14021に従い、お客様のLEED、BREEAMグリーンビルディング認定証取得に貢献いたします。

# LAMINAM

SUPERIOR NATURAL SURFACES

## セラミックスラブは、 SDGsの具体的な取組みから生まれます。

For the SDGs

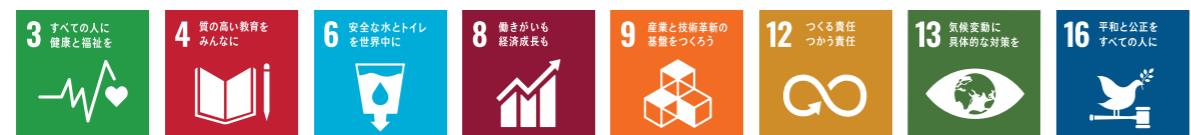


## SUSTAINABLE GOALS

### 国連2030年アジェンダ「持続可能な開発目標」へのLAMINAMの貢献

2015年9月25日、第70回国連総会において、今日の世界が直面する喫緊の課題に取り組むべく、2030年に向けた環境・経済・社会について国際社会全体の目標「持続可能な開発のための2030年アジェンダ」が採択されました。このアジェンダは17の目標(SDGs)と付随する169の目標から成り、2015年から2030年をその目標達成の期間としています。各国は目標達成のための貢献を求められ、経済的・社会的組織もまたSDGsに沿った行動により世界的な持続可能な開発への道筋に参加することが求められます。

LAMINAM社では以下の8つのSDGsへの貢献を目的とし、確実で明確な行動を積極的に実行致します。



### 人の健康とウェル・ビーイングを大切にするデザイン

#### AMBIENCE, バイオ活性表面処理

AMBIENCEは弊社のセラミックスラブに「光触媒効果による空気浄化・殺菌・消臭効果・自浄効果向上」の機能を与える追加表面処理加工技術です。弊社のブランド哲学である「独自性と環境への配慮」を製品として体現するAMBIENCEは、設計された建築・デザイン空間で過ごす人々の「大切な人の安心や健やかな成長を願う気持ち」や「次世代へより良い地球環境を残したい」と言う価値観へ寄り添う製品として存在します。キッチン、バスルーム、ダイニング、リビングテーブルと言った大切なプライベート空間。多くの人が行きかう病院、クリニック、学校、フードコート、ジム、プール、マンション共有スペースと言った公共空間。衛生的で安心できる空間が求められるあらゆる場所に効果を発揮するAMBIENCEは人の健康とウェル・ビーイングに貢献しWELL認証取得評価に適う付加価値をご提供します。



### サプライチェーン上の人権デューデリジェンスへの取組み

サプライチェーンには労働契約の合法性とコンプライアンスが国内労働法<sup>\*</sup>の基本的な要求に沿っていることを求め、質問票の形で各納入業者から要求への回答を受け取ります。

サプライチェーンにおける人権デューデリジェンスとは



製品の原料調達、製造、消費者へ届くまでのサプライチェーンの川上から川下において関わる全ての人の「人権」「安全」「健康」が侵されていないことを検証、評価、改善、救済、情報公開をする取組みです。デューデリジェンスとは「当然実施すべき取組み」を意味します。

<sup>\*</sup>イタリアの人権デューデリジェンスに関する法律  
(法人・企業・団体の行政上の責任法(2001年))

イタリア企業・団体による人権侵害を含む違反・違法・犯罪行為に對し、行政上の責任を追及し制裁を科す法律。2016年にはイタリア立法令2016年254号によりデューデリジェンスを含む企業の実施方針・結果報告の情報開示が義務化されました。同年外務省に設立された人権省庁間委員会は特に、中小企業・移民・グローバル生産プロセスにおける不法就労、強制労働、児童労働、奴隸労働、その他の違法ないし不当な労働への対策を強化しています。



#### 第三者機関による取り組みの実効性評価：2022年ISO20400認証を取得

ISO 20400「持続可能な調達に関するガイドライン (Sustainable procurement - Guidance)」は企業の調達活動において、環境・法令・倫理・人権等の観点で将来にわたり持続可能な活動であることに貢献する目的で2017年11月国際標準化機構(ISO)が発行した規格です。調達活動において、環境・法令・倫理・人権等の観点で将来にわたり持続可能な活動を行う目的で採用し2022年に認証取得致しました。

### 建物の環境性能

LAMINAMはサスティナブル建築を推進するグリーンビルディング協会のメンバーです。全商品が製品リサイクル原料40~60%含有、高日射反射率を持ち(ISO14021により認証)LEED,BREAMS認証取得時の環境性能評価に製品・製造の両面で具体的な価値をご提供しています。また空気浄化・殺菌・消臭・衛生機能を持つ弊社製品はWELL認証取得にも貢献いたします。



## 生態系・生物多様性・自然緩衝地保護の取組み

グローバルカンパニーとして「地球環境と持続可能性への責任」に対し製造・製品の両面で具体的な価値をご提供します。SDGsの取組みとその結果は第三者機関の検査・認証を含む客観性・透明性・比較性のある情報として公開いたします。



梱包材再利用量は2021年に前年比46%増、2022年にはさらに11%増  
となりました。2022年は年間購入量の63%に当たる765トンの鉄製  
パレット、同年間購入量の17%に当たる木製パレットを回収・再利用  
することで梱包資材の年間購入量を11%削減しています。

森林管理・生態系・自然緩衝地保全

2020年、複数の大学、エミリア・ロマーニャ州、フリウリ=ヴェネツィア・ジュリア州と共に“ライフ・プロジェクト”を立ち上げました。これは森林管理の改善・生態系の公益機能を評価し、未使用的森林を持続可能性に注意しながら慎重に開発し収益の得られる産業とすることを目的としています。ラミナムはこの森林にほど近く位置し、将来、持続可能な梱包用木材として利用する責任ある立場としてこのプロジェクトに自主的に参加しました。

## 生産活動が環境に与える影響の定量化・比較可能化と情報公開

製品の製造やサービスの提供など、自社の活動による環境への負荷を最小限にするように定める仕様書  
「ISO14001:環境マネジメントシステム」。ラミナム社は2021年にBorgo Val Di TaroとFioranoのイタリアの  
全2工場がこの認証を受けました。国際規格に基づき企業活動が環境に与える影響を定量化し監視することで  
持続可能性のための継続的なプロセスの改善と公表を継続して行っています。

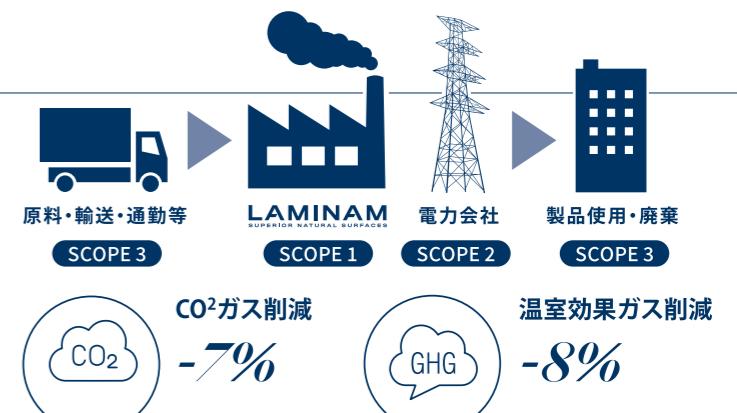


## 温室効果ガス削減の取組み

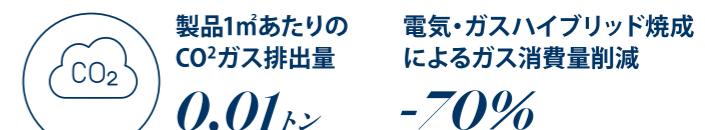
原料生産～廃棄までの全ライフサイクルで  
排出されるCO<sub>2</sub>の削減に取り組みます。

LAMINAMの考える「つくる責任」の範囲

SCOPE 1 + SCOPE 2 + SCOPE 3



2021年に製品1m<sup>2</sup>あたりの製造に発生するCO<sub>2</sub>を7%、GHGを8%削減して  
以降同システムにて継続的に削減活動を行っています。



2017年～2019年に世界に先駆け刷新された環境配慮型の複合プラントの排ガス  
システムは、京都議定書に適合、以降大学研究機関と共に改善を続けています。

## 太陽光発電と電力化



温室効果ガス排出とエネルギー消費削減の為、電気・ガスによる  
ハイブリッド焼成窯を導入しています。天然ガスと電気の消費構成は76%:24%になります。エネルギー効率化にて昨年より電気  
比率を3ポイント増加させています。天然ガス供給の地政学リスクを  
背景とし、工場の電化と自社再生可能エネルギー(太陽光)設備の  
増設を進めています。また、買電の場合も再生化のエネルギー  
により発電された電力を採用を増やしています。

## 環境・健康に配慮した自然素材の採用



製品の93%が粘土・長石・石英・砂の自然由来原料です。結晶質シリカの含有率が低く、タイル・石材工作業者  
者の遊離結晶質シリカによる健康被害リスクの低い材  
質の一つです。

種類	結晶質シリカ含有比率
人造/人工大理石	最大97%
天然砂岩	70~95%
花こう岩	25~40%
レンガ	35~45%
ラミナム	15~20%

参照:オーストラリア国家政策機関



脱プラスチックの取組みとして製品包装に再生セロファン  
(木材由来)やリサイクルポリスチレンの使用を開始しました。  
販促物と印刷物の製造は最小限に抑え常にリサイクル  
資材又はFSC認証紙が使用されます。



温室効果ガス排出量の定量化と責任範囲の明確化、記録報告プロセスはISO14064-1に基づき  
策定・実行され2022年5月同認証の取得によりそのプロセスの有効性が実証されています。



LAMINAMは、SDGsの実践的な  
取組みに貢献いたします。

SDGs・LEED・WELLの理念を体現する建築・空間デザインを望まれる全ての皆様にSDGs活動やグリーンビルディング  
実現のための具体的な価値を製造・製品の両面でご提供致します。